

快晴気分 全開口サッシ

取り付け説明書

このたびは、“快晴気分 全開口サッシ”をご利用いただきましてありがとうございます。本商品をただしく取り付けいただくため、この説明書をよくお読みください。

■ 工事店様へのお願い ……

障子梱包に同梱されている取り扱い説明書は、必ず施主様にお渡しください。

注 意

施工の際は、上枠が垂れ下がらないように中央付近の開口高さを両端に対し ± 4 mm以内となるように必ずチェックしてください。（本体障子が入らなくなるおそれがあります。）

目 次

注意していただくこと	・・・ P 2 ~ 3
1. 梱包内容	・・・ P 4 ~ 5
2. 枠の取り付け	・・・ P 6 ~ 11
3. 障子の吊り込み	・・・ P 12 ~ 14
4. 障子の連結について	・・・ P 15
5. ラッチの調整	・・・ P 16 ~ 17
6. ガラスはめ込み前の確認	・・・ P 18
7. ガラスはめ込み	・・・ P 19 ~ 20

注意していただくこと

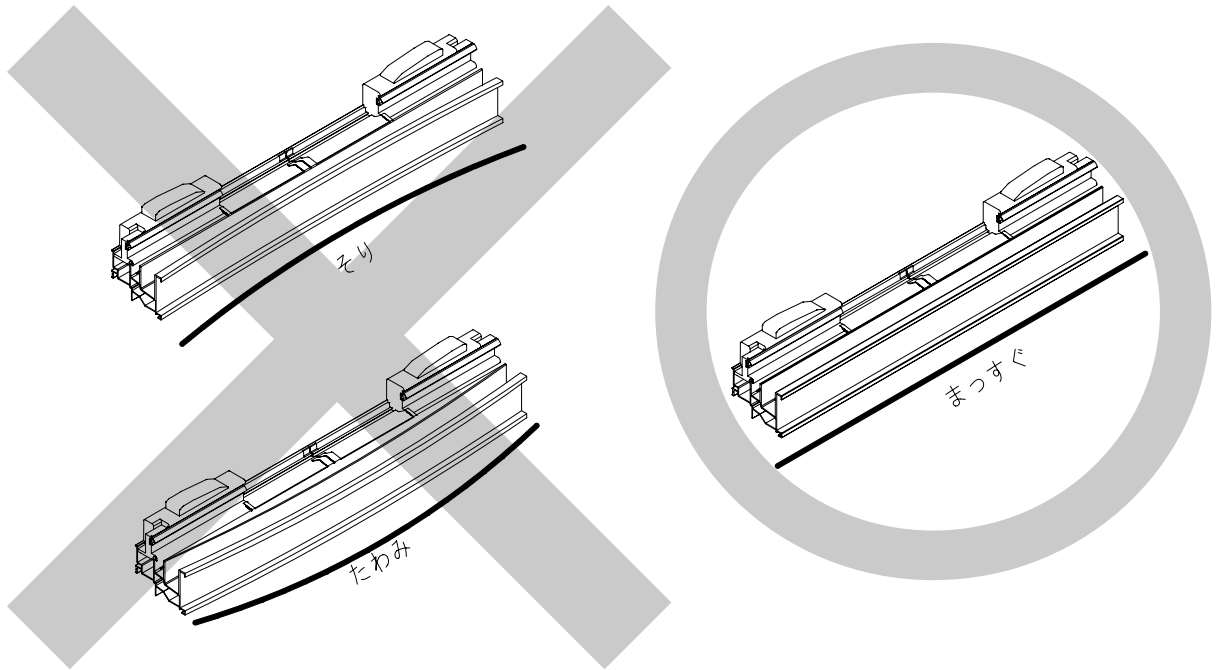
必ずお読みください

■ 枠取り付けについて

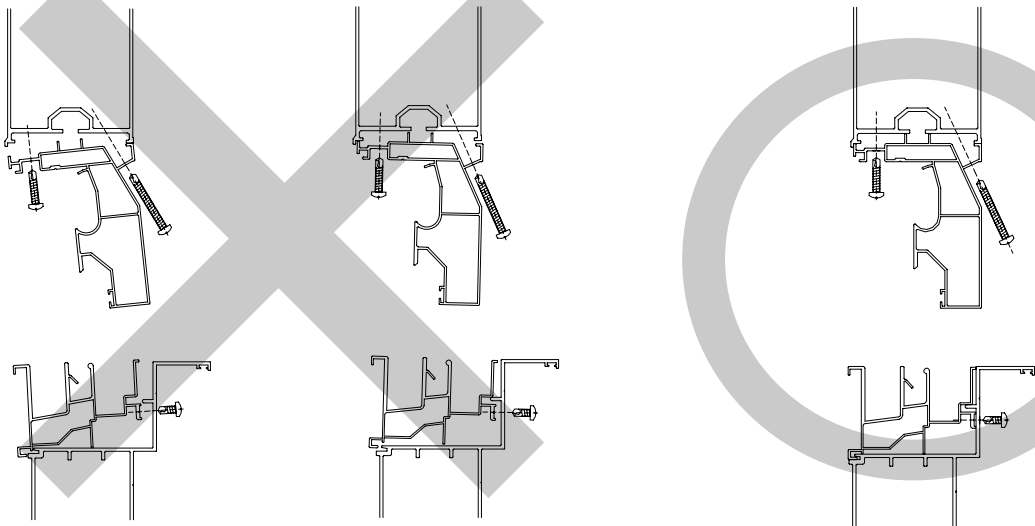
本商品は上吊方式のため、ねじれ・たわみ・そり・倒れなどがある場合、障子の開閉や性能に悪影響をおよぼします。

枠の取り付けの際に下記のことにご注意し、取り付けてください。

注意 枠の、たわみ・そりに注意して取り付けてください。



注意 枠の、倒れに注意して取り付けてください。



注意していただくこと

■ 上枠補助の取り付けについて

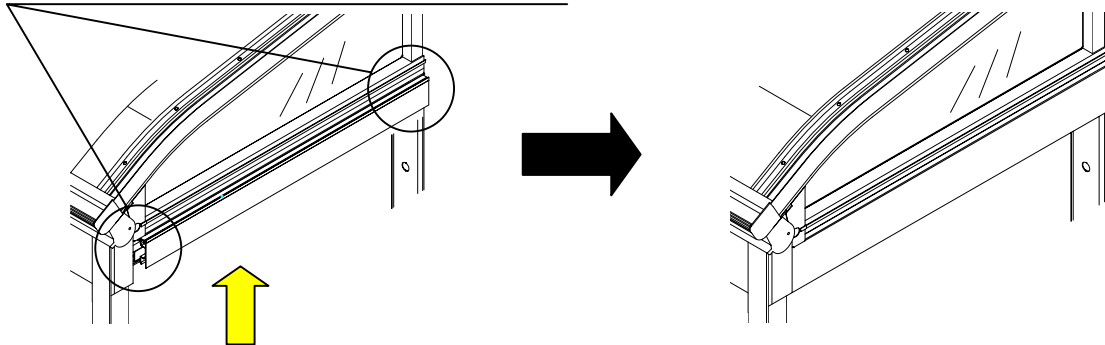
- ①上枠補助の両端が下図のように納まるようセットしてください。
- ②上枠補助を下図のように持ち上げながら上枠にはめ込んでください。
- ③上枠補助 および、上枠にはねじ止め用穴が複数箇所あいていますので全箇所、ねじ止めしてください。

※ねじ止めをするときは、最初に中央部を止め、次に端から順に止めていくと、確実に固定することができます。

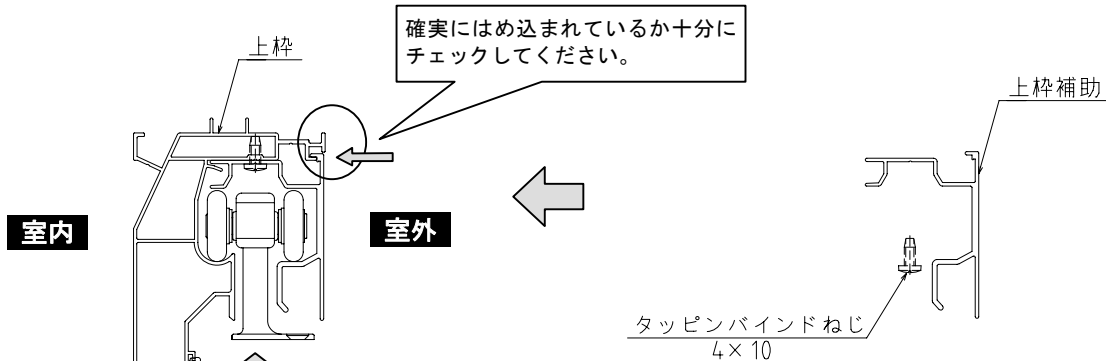
⚠ 注意

上枠補助取り付けねじが全箇所確実に取り付けられているのを確認してください。
確実に取り付けられていない場合、障子の開閉に支障をきたします。

上枠補助の両端が納まるようにセットします



②持ち上げながら、
上枠にはめ込みます。



室内

室外

タッピンバンドねじ
4×10

上記A部矢視図

⚠ 注意

上枠補助が上枠に上図のようにはめ込まれていなかったり、同梱されていた（指定された）ねじ以外を使用した場合、室内への水漏れなどの原因となります。

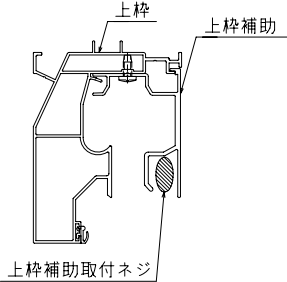
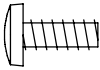
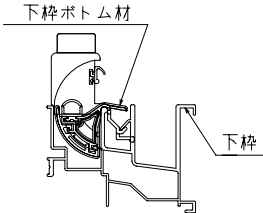
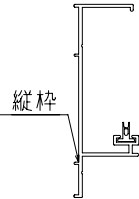
上枠補助が
セットされていない

この状態でねじ止め
してください


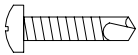



1 梱包内容

- 枠梱包内容は次のようになっております。
- 下記の部品・部材は **2** 枠の取り付け（P6）にて使用します。

枠梱包内容

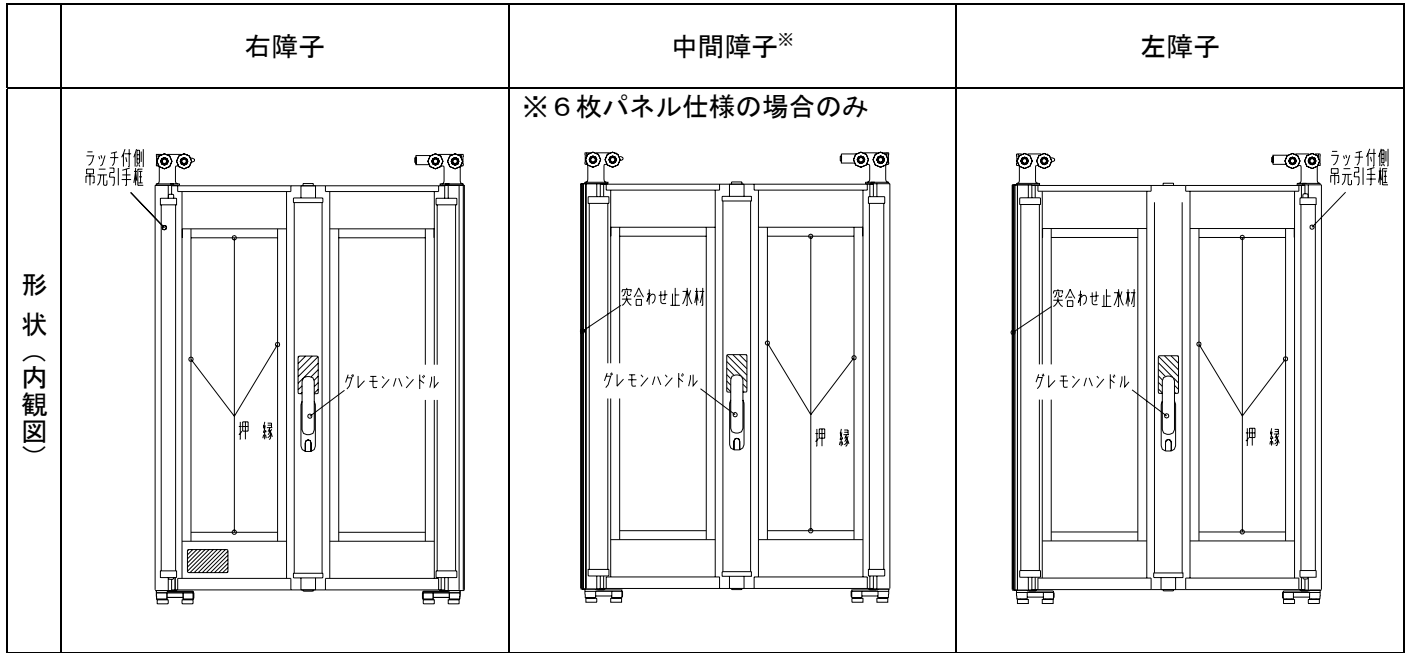
品名	形状	個数	備考
上枠セット品		各 1	上枠＋上枠補助セット品 ※上枠補助はネジで仮止めしてあります。
タッピンバインドねじ 4×10		必要数入っています。	上枠補助取付ねじ ※小袋入り：上枠に貼り付けてあります。
下枠セット品		1	下枠には、下枠ボトム材が 4枚パネルの場合、2本 6枚パネルの場合、3本 セットされています。
縦枠		2	L・R 各1本入っています。

同梱部品（部品箱入り）

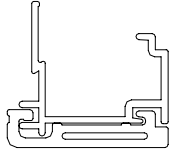
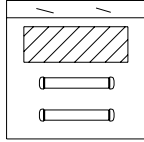
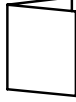
ピース鍋ねじ 4×35		必要数と予備数 本入っています。	上枠取り付け用
ピース鍋ねじ 4×19		必要数と予備数 本入っています。	上枠取り付け用
ピース鍋ねじ 4×10		必要数と予備数 本入っています	下枠取り付け用
タッピントラスねじ 4×12		必要数と予備数 本入っています。	縦枠取り付け用
取り付け説明書		1	

障子 1 セット 梱包内容

障子形状は、製品仕様によって、右障子・中間障子・左障子の3種類あります。



同梱部品

形状		※1 押縁	連結金具セット	取り扱い説明書
				
右障子	上框用	2	-	1
	下框用	2		
	縦框用	4		
※2 中間障子	上框用	2	1	-
	下框用	2		
	縦框用	4		
左障子	上框用	2	-	-
	下框用	2		
	縦框用	4		

※1. 押縁は、上框・下框・縦框にセットされています。(4方押縁)

※2. 中間障子は、6枚パネルの場合のみ。

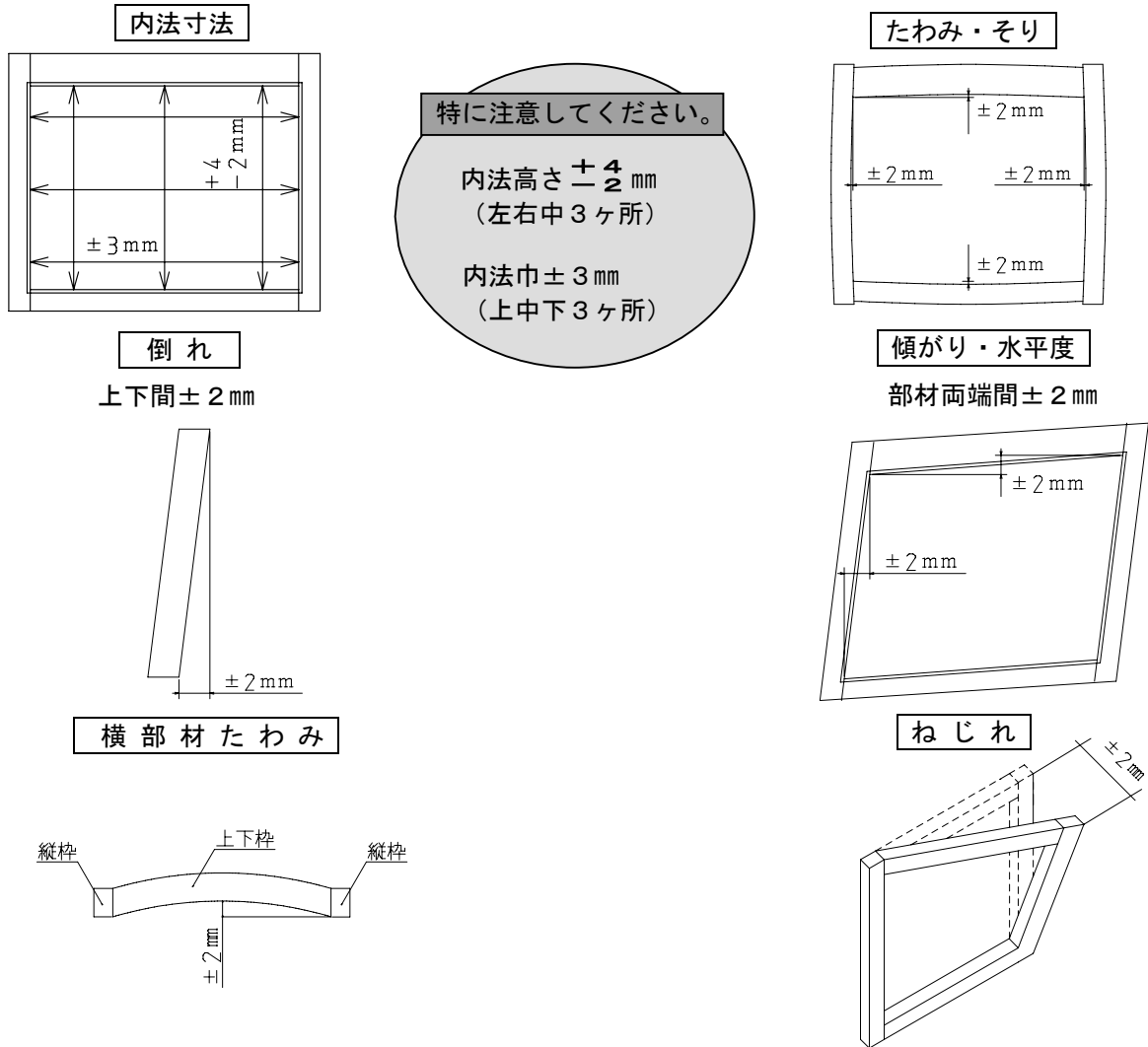
2 枠の取り付け

サッシ枠は、前面、側面の取り付け方法は同じです。
以下の手順に従いサッシ枠の取り付けを行ってください。

■ 枠の取り付け精度

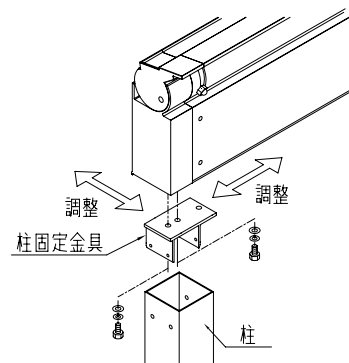
- ・ 下図に示す、商品の各部寸法を確認してください。
本商品は上吊り方式のため、枠のねじれ・たわみ・傾がり・倒れなどがあると、障子の開閉や性能に悪影響をおよぼします。

特に、中央付近のH寸法には十分注意してください。



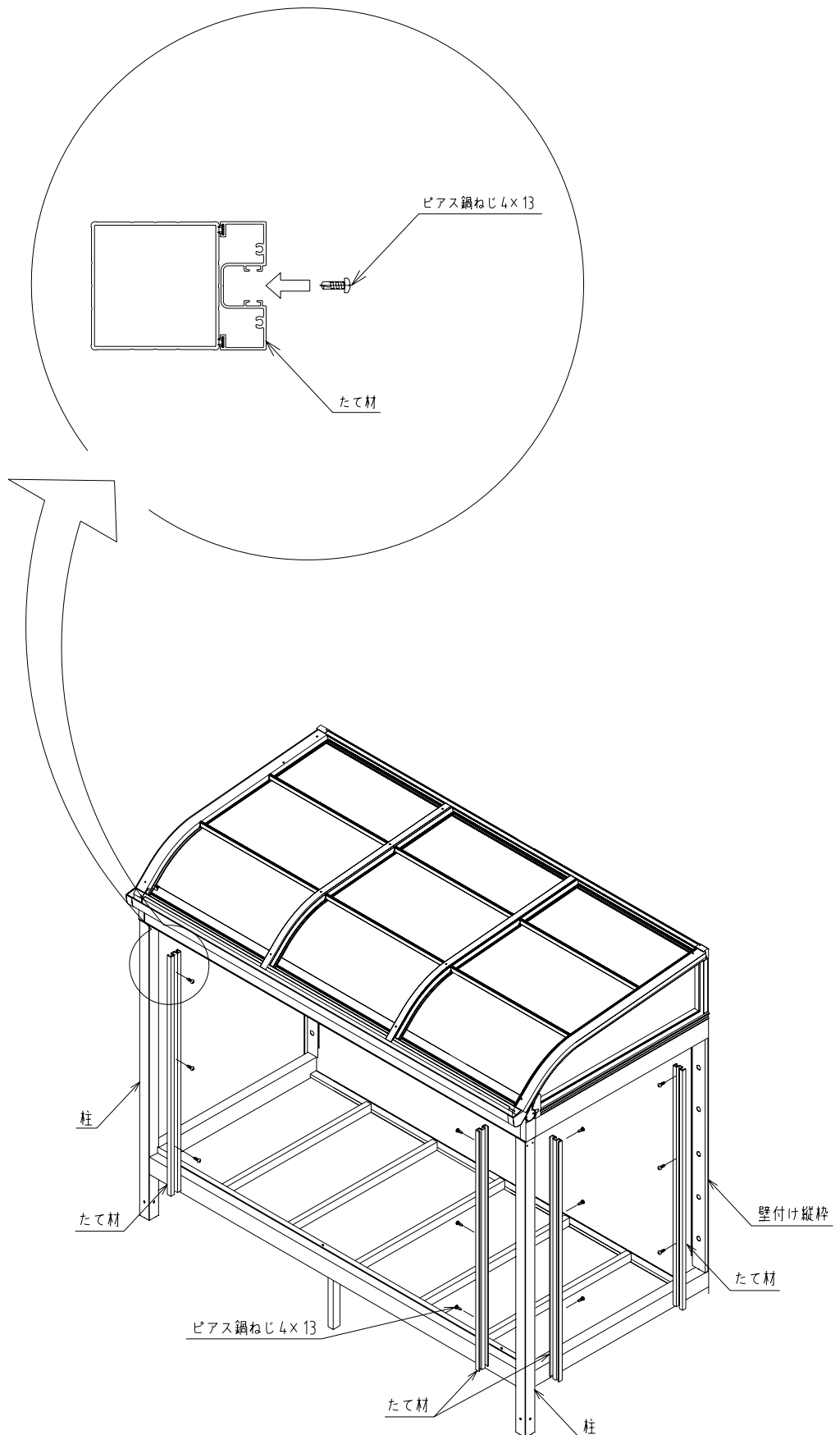
■ 内法寸法の調整

内法寸法の調整は右図のように
柱固定金具をゆるめて行ってください。



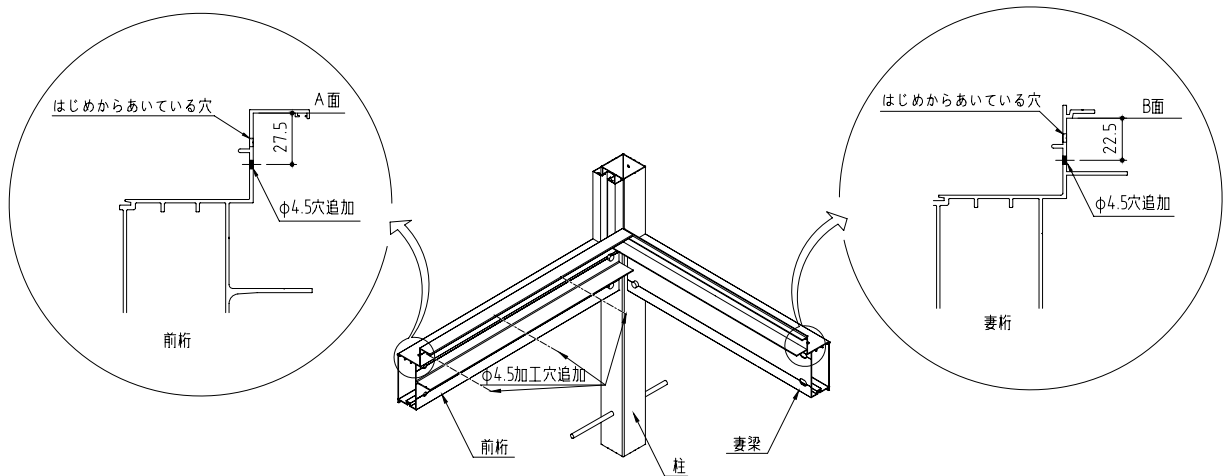
1. たて材の取り付け

①たて材を柱及び壁付け縦枠に4×13のピアス鍋ねじで取り付けてください。



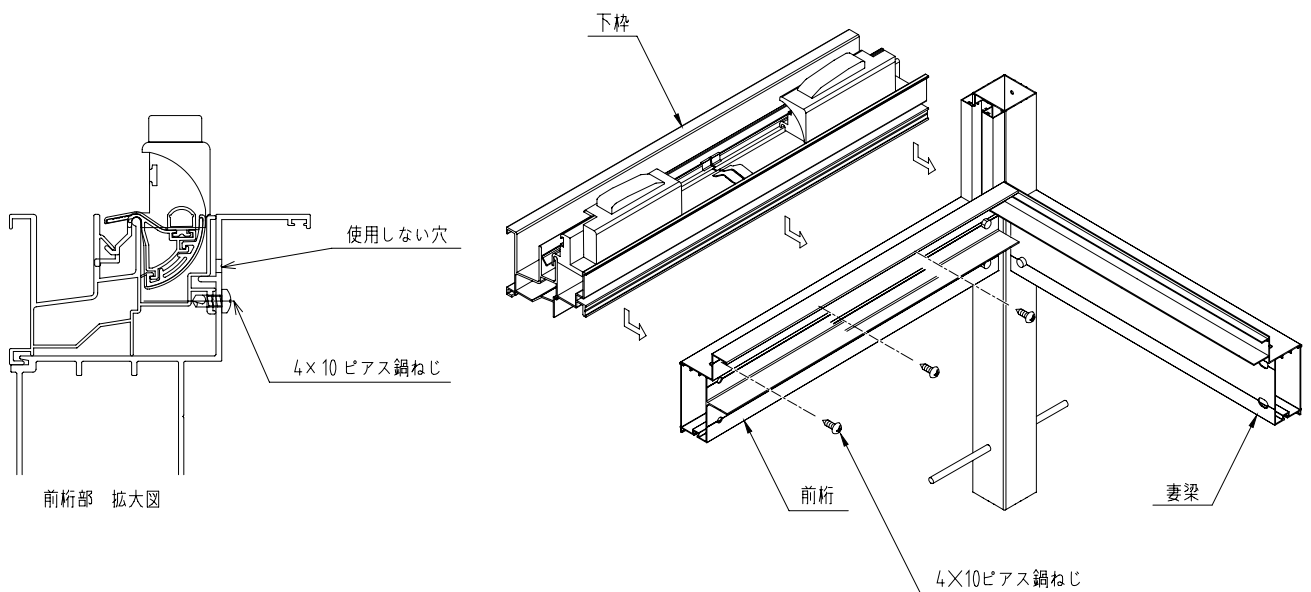
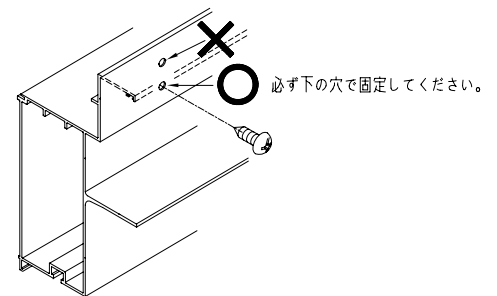
2. 下枠の取り付け

- ① 下図のように、全開口サッシを前面に取り付けるときは前桁にA面から27.5mm、側面に取り付けるときは妻梁にB面から22.5mmのところからφ4.5の穴をあけます。(加工ピッチは、はじめからあいている穴と同ピッチで加工します)



- ② 下枠を前桁（妻梁）にセットします。
 ③ 下枠の左右のチリを均等にしてください。
 ④ ピアス鍋ねじ（4×10）で下枠を固定してください。

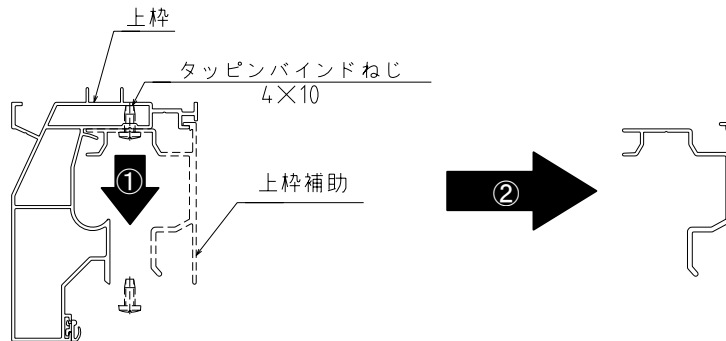
注意 前桁（妻梁）にはじめからあいている穴は、本サッシでは使用しません。誤ってねじを打たないように注意してください。



3. 上枠補助を外す

上枠の中央付近にねじ1個にて、上枠補助を固定しています。

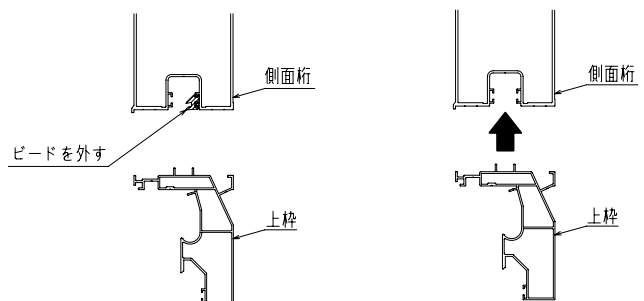
- ① このねじを取り外します。
- ② 上枠補助を上枠から外してください。



4. 上枠の取り付け

○側面桁には右図のようにビードが取り付けられています。ビードが付いていると上枠が入らないため、ビードを取り外してください。

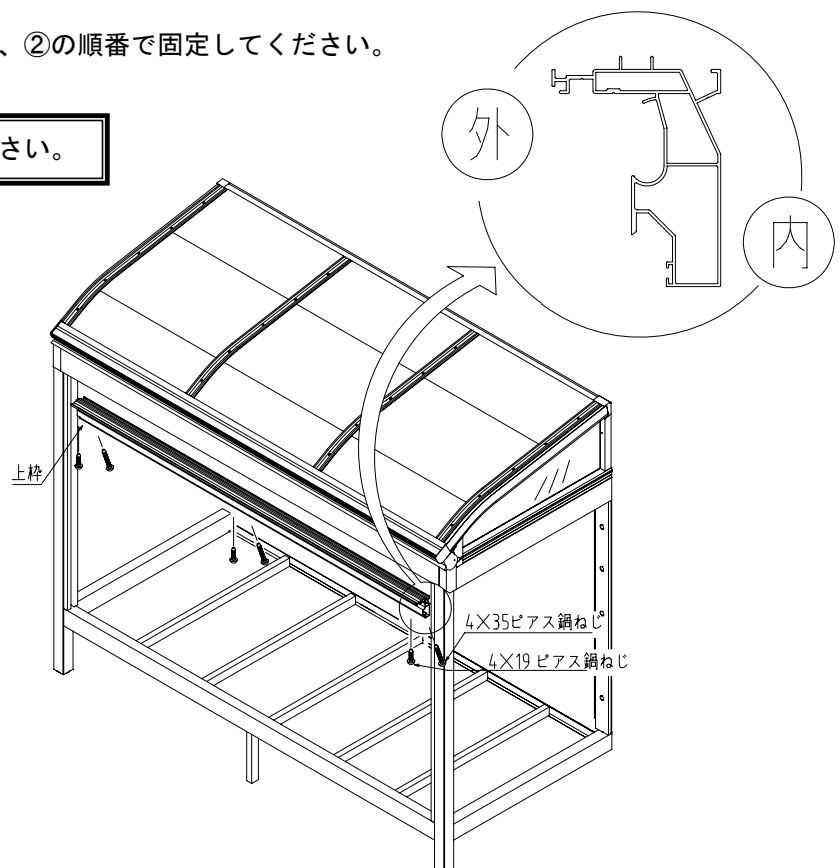
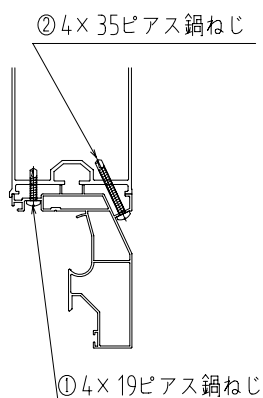
ビードは強く引き抜けば外れます。
※前面の補強桁にはビードは付いていません。



上枠を補強桁（側面桁）に ①ピラス鍋ねじ（4×19）
②ピラス鍋ねじ（4×35）で固定してください。

※必ず①、②の順番で固定してください。

注意 上枠の向きに注意してください。

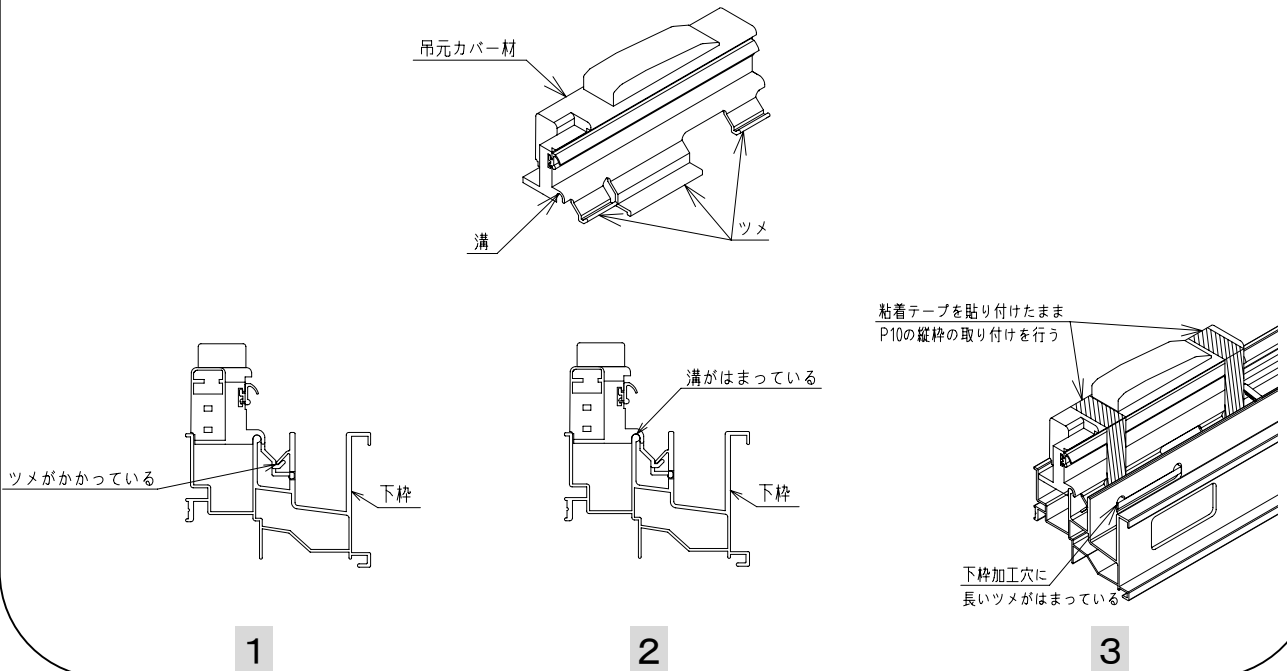


5. 吊元カバー材の確認

○はじめに、下記のように吊元カバー材が下枠に確実にセットされていることを確認してください。
吊元カバー材は下枠に粘着テープで仮固定されています。

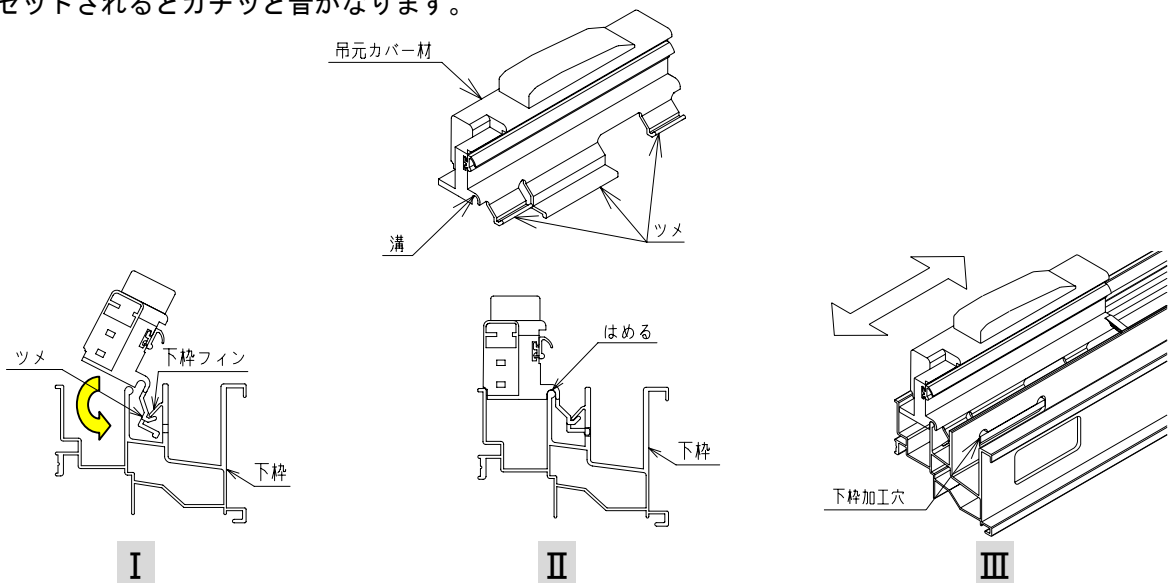
セットされているのが確認できましたら、粘着テープを貼り付けたまま
P10の縦枠の取り付けを行ってください。

1. 吊元カバー材のツメが下枠にかかっていることを確認してください。
2. 吊元カバー材の溝が下枠にはまっていることを確認してください。
3. 長いツメが下枠加工穴にはまっていることを確認してください。



○外れていた場合、下記のように吊元カバー材をセットしてください。

- I. 吊元カバー材のツメを下枠フィン部に引っ掛けます。
- II. 吊元カバー材の溝を下枠にはめます。
- III. 吊元カバー材を矢印のようにスライドさせ、長いツメを下枠加工穴にセットしてください。
セットされるとカチッと音がなります。



6. 縦枠の取り付け

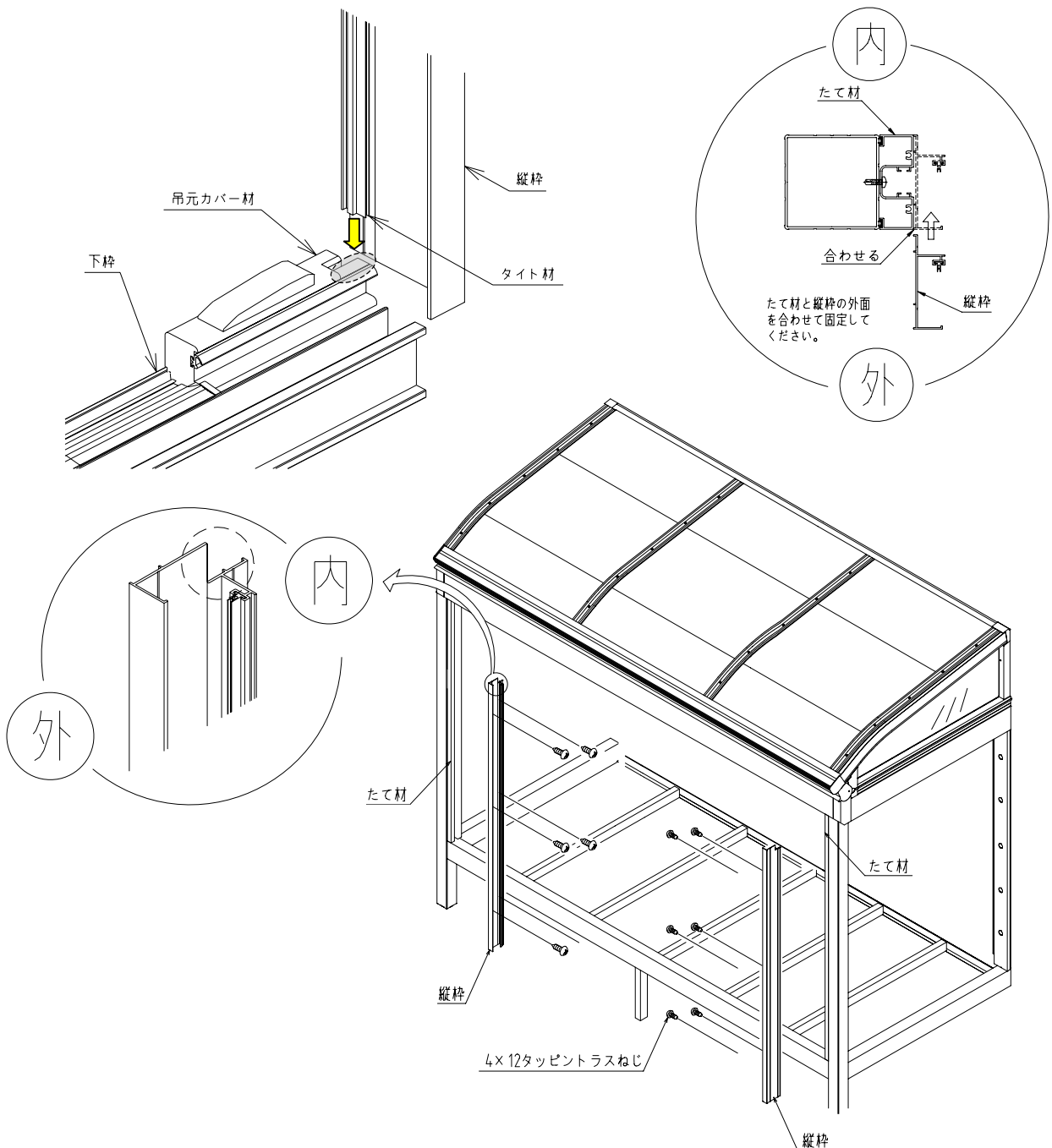
①縦枠を上枠と下枠に対して右図のように矢印の方向に入れます。

▲ 注意 縦枠の切り欠きのある方が上部になります。

▲ 注意 下図のように、縦枠タイト材を下枠吊元カバー材の部分に乗せてセットしてください。

②縦枠の加工穴からたて材側にφ3.5の下穴をあけます。

③タッピングトラスねじ（4×12）で縦枠を固定します。



3 障子吊り込み



障子を吊り込む前に、下枠レール部の切粉等を取り除いてから障子を吊り込んでください。



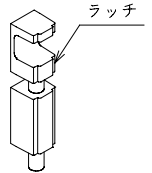
ガラスがはめ込まれている場合は、障子の重量がかなり重くなります。障子を吊り込む際は2人もしくは3人で吊り込みを行なってください。

■ 障子の構成

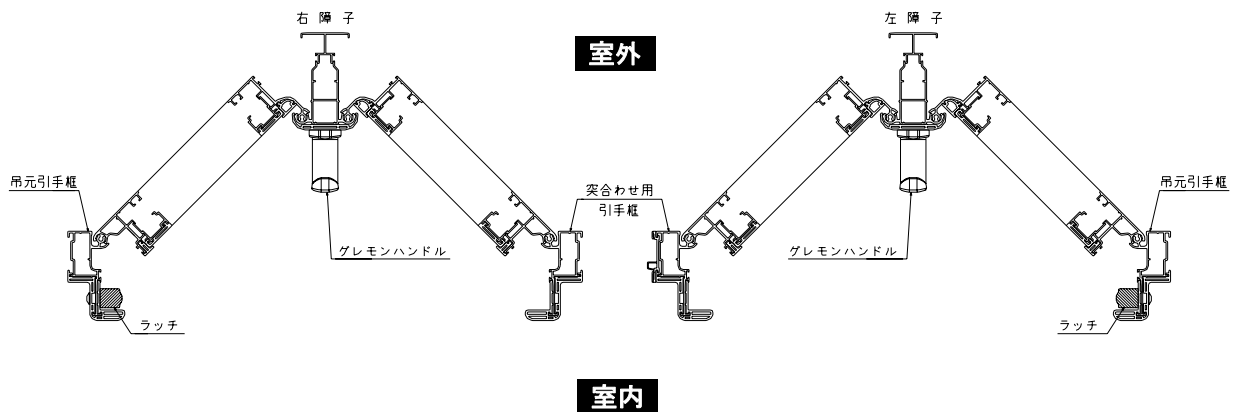
障子は、仕様により種類が異なります。

- ・ 下図を参照し、各障子の配置を確認してから吊り込んでください。

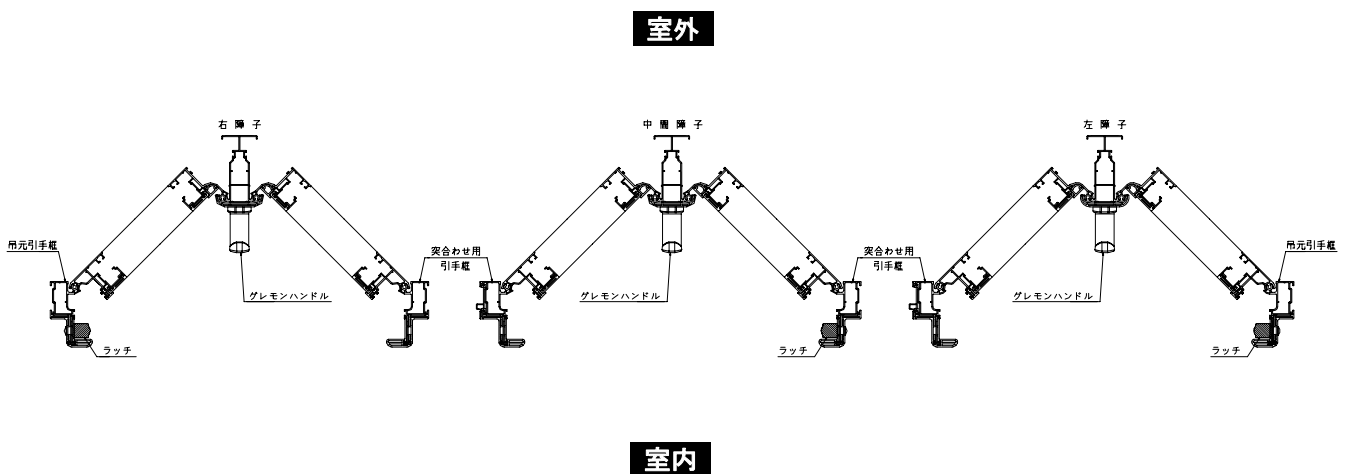
※ラッチは、吊元引手框の上下に取り付けています。



4枚パネル仕様



6枚パネル仕様



※6枚パネルについては必ずどちらかの引手框が連結されます。

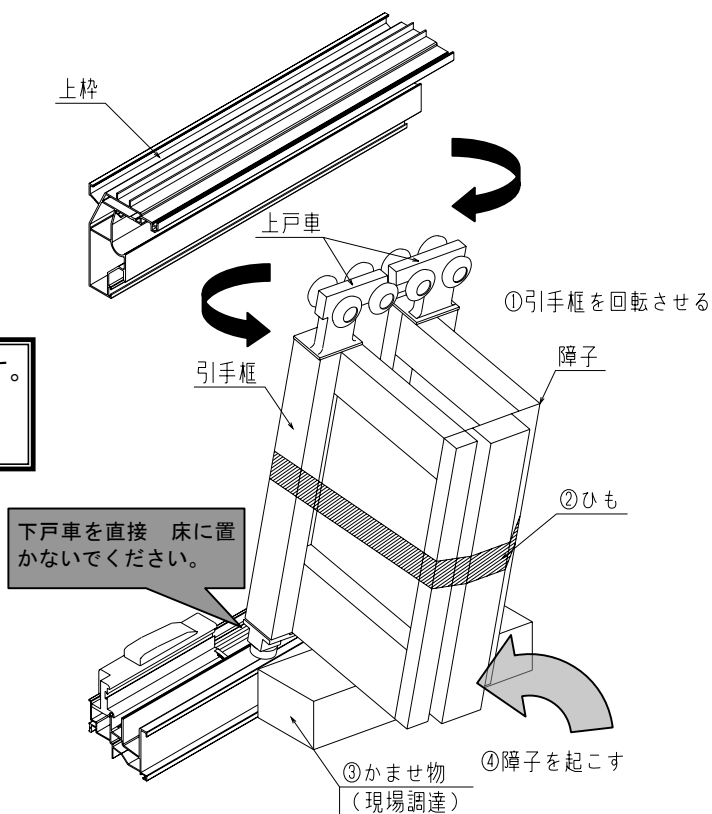
1. 障子の吊り込み

障子は室外側から吊り込みます。

- ① 引手框を横に回転させます。
(上戸車を右図の状態にします)
- ② 障子が開かないように適当なひもで固定します。
- ③ 下戸車や障子の下部が傷つかないように障子の下に**かませ物**を置いてください。

注意 下戸車が傷つくと開閉に支障をきたします。
かませ物は、**高さが25mm以上の物**を使用してください。

- ④ 障子をおこしてください。



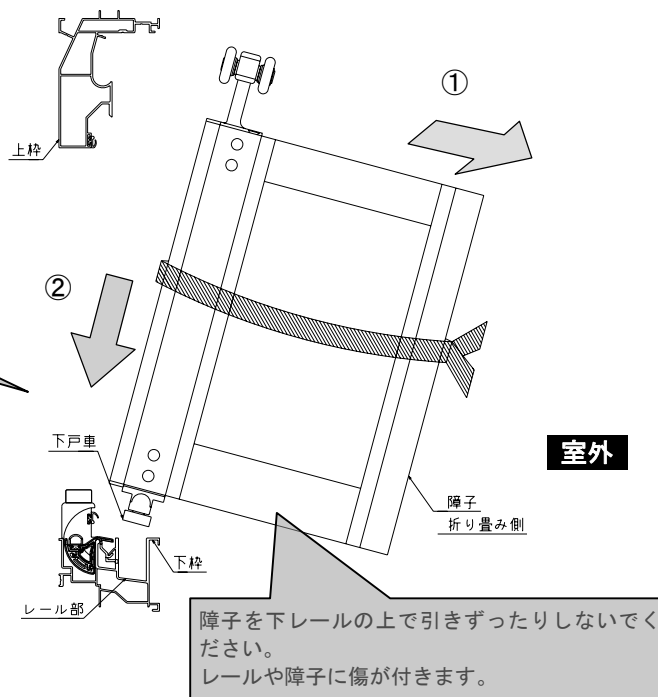
2. 下戸車を下枠のレールに入れる

折り畳み側を室外に向けてください。

- ① 折り畳んだ障子を室外側に傾けてください。
- ② 下戸車やレールが傷つかないように少し持ち上げながら、下戸車を下枠レールに入れます。

室内

吊り込み時に、下戸車が傷つかないように注意してください。

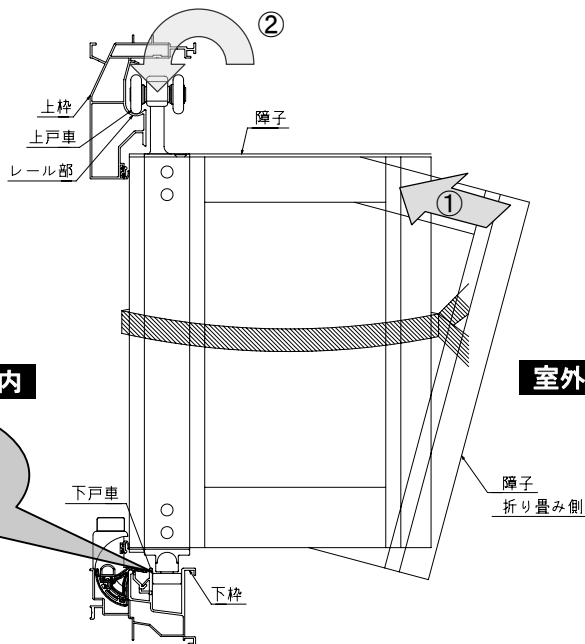


3. 上戸車を上枠のレールに乗せる

- ① 下戸車を下枠にのみ込ませたまま障子をまっすぐに起こします。
- ② 障子を持ち上げ、上戸車を上枠のレールに乗せます。



注意 障子には、右・中・左勝手があります。
ラッチの有無および右・中・左障子
を確かめて吊り込んでください。
※前項「障子の構成」参照



4. 上枠補助を上枠にはめ込む

- ① 上枠へ上枠補助を下図のようにしっかりはめ込んでください。 **(P 3 “上枠補助の取り付けについて” 参照)**
- ② 上枠補助 および、上枠にはねじ止め用穴が複数箇所あいていますので全箇所、ねじ止めしてください。

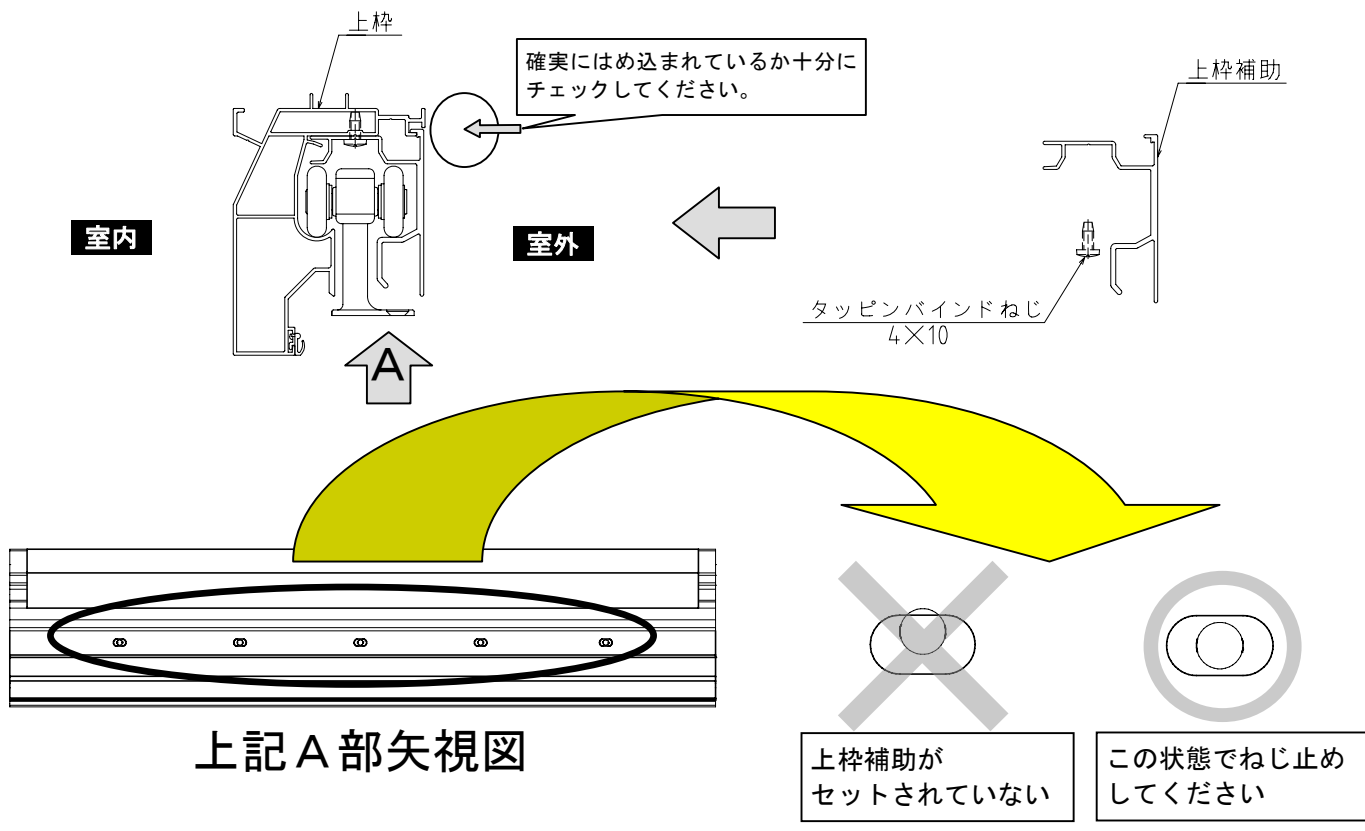
※ ねじ止めするときは、最初に中央部を止め、次に端から順に止めていくと、確実に固定することができます。



注意 上枠補助取り付けねじが全箇所確実にとりつけられているのを確認してください。確実に取り付けられていない場合、障子の開閉に支障をきたします。



注意 上枠補助が上枠に下図のようにはめ込まれていなかったり、同梱されていた（指定された）ねじ以外を使用した場合、室内への水漏れなどの原因となります。



4 障子の連結について

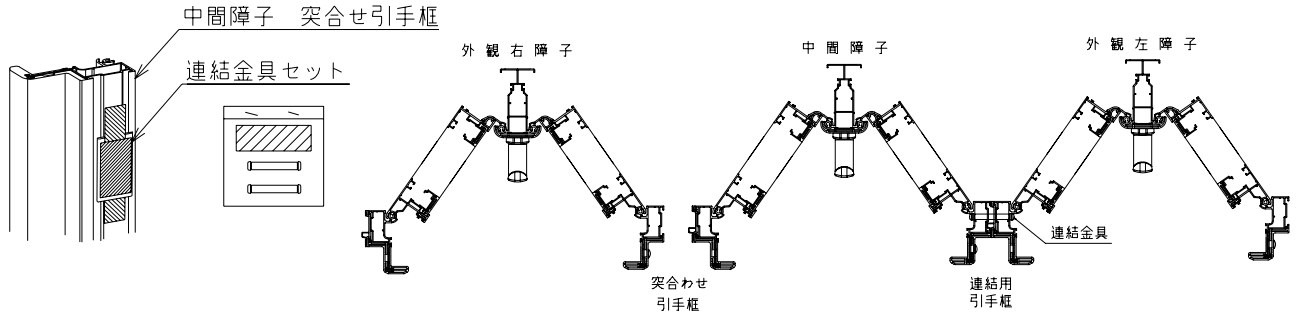
パネル6枚のときは、以下のように連結を行なってください。

連結金具セットは、中間障子の引手框にテープ止めされています。

■ 連結位置

- ・パネルが6枚のとき、突合わせ引手框に設けられた貫通穴を利用し、引手框を必ず連結金具で連結してください。

パネル6枚のとき、必ず連結を行なってください。

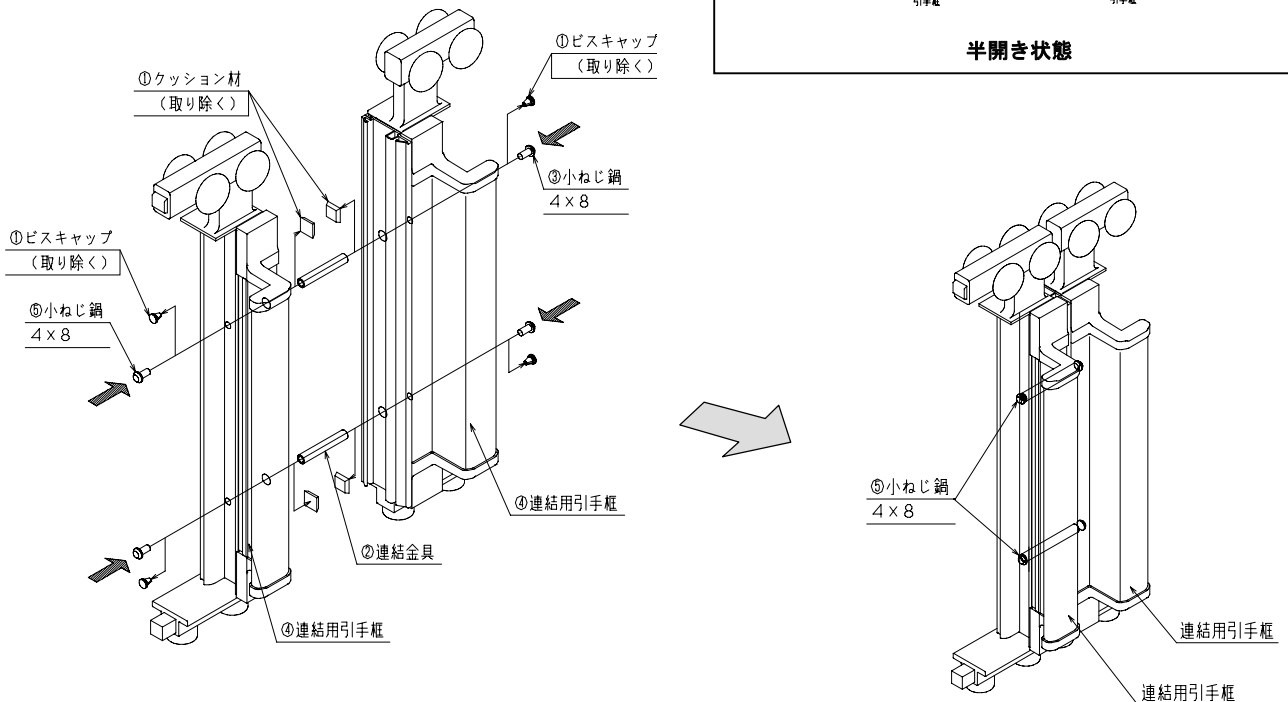
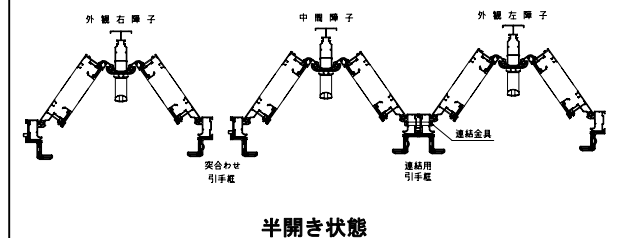


■ 連結金具

連結は、連結する障子同士を半開き状態にして行ないます。

- ① ビスキャップ、クッション材を取り外します。
- ② 連結金具の両端に仮止めしてある小ねじ（4×8）を取り外し、引手框の貫通穴に連結金具を通します。
- ③ 連結金具の片側をねじ止めします。
- ④ 連結する突合わせ引手框を合わせます。
- ⑤ ②と反対側の連結金具をねじ止めします。

【例】パネル6枚左勝手仕様



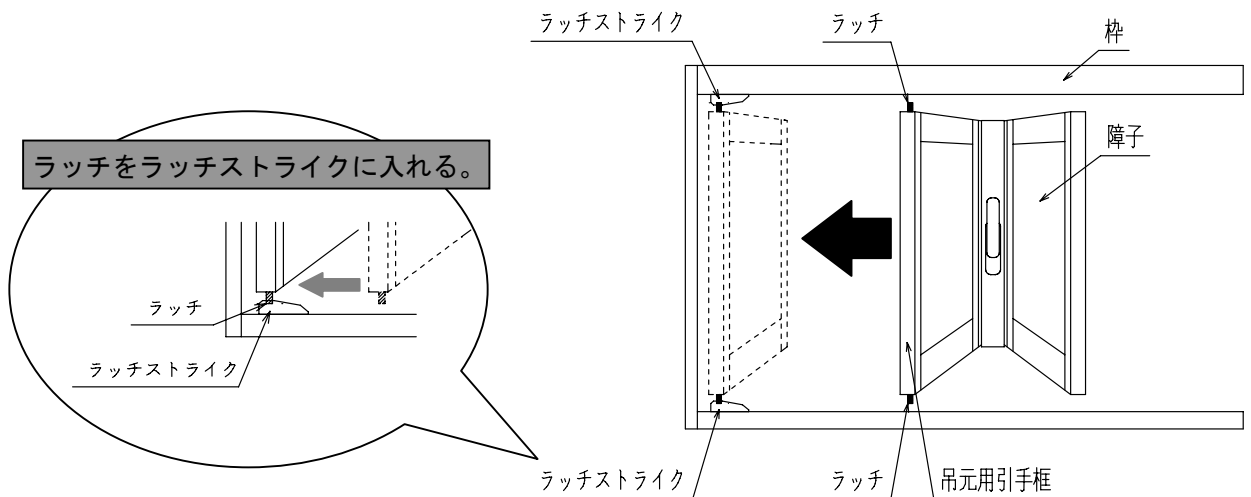
5 ラッチの調整

より快適な開閉のために、必ず下記のことを行なってください。

1. 吊元側の引手框は、常に固定になります。

障子を吊り込んだ後、まずは、吊元用引手框の上・下に取り付けられたラッチを、枠に取り付けられているラッチストライク（ラッチ受け）に入れてください。

ラッチがラッチストライクに入りにくい場合、すべての障子を吊り込み、障子を閉じることで自動的にラッチストライクに入ります。

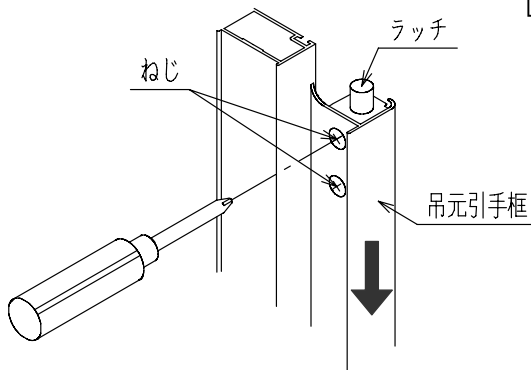


2. ラッチの調整

吊元用引手框をラッチストライクに入れた後、ラッチのかかり具合を確認してください。

かかりの調整は、2本のねじをゆるめることで上下に調整することができます。
調整後は確実にねじを締め付けてください。

・工場出荷時、上・下のラッチは一番かかりが深くなる状態で、固定してあります。

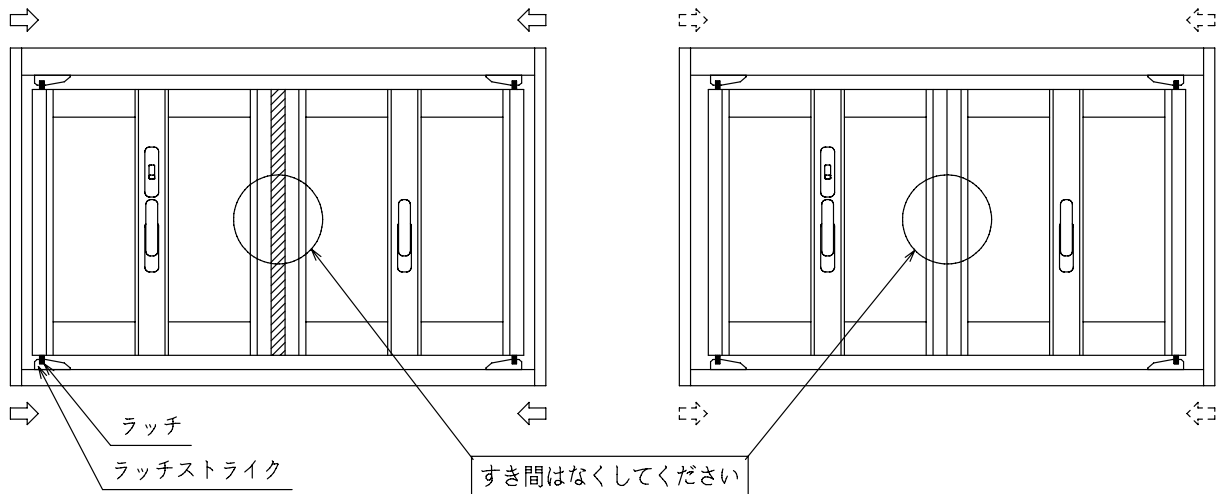


ラッチはかかりが浅くなる方向に調整可能です。

3. 突合わせすき間をなくしてください。

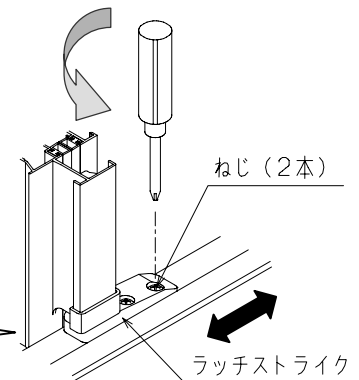
障子を全閉しレモンハンドルを掛けて、引手框同士の突合わせ部にすき間がないか確認してください。

! すき間は漏水の原因となります。



すき間がある場合、枠の四隅（屋内側）にあるラッチストライクを調整し、すき間をなくしてください。
ラッチストライクを枠中央側に寄せる調整を行うと引手框同士の突合わせ部のすき間が解消されます。
ラッチストライク調整後は、ねじを確実に締め付けてください。

ラッチストライクは、2本のねじをゆるめると左右に調整可能です。



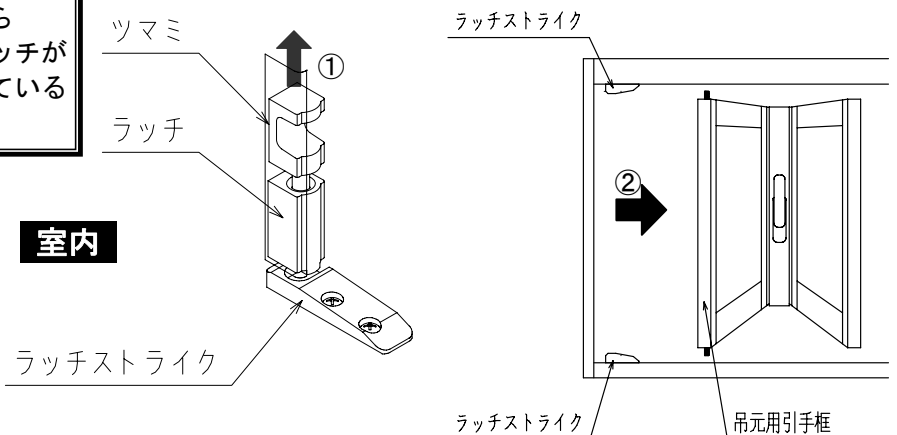
4. ラッチの解除

もしも、障子吊り込み後、突合わせ部にすき間があるなどの支障が生じた場合、吊元用引手框のラッチを解除し、再度確認してください。

ラッチの解除方法

- ① ラッチのツマミ部分をひきます。
- ② ①の状態、吊元用引手框を引く。

! 注意 確認などが終わりましたら障子を全閉した状態でラッチがラッチストライクに入っていることを確認してください。

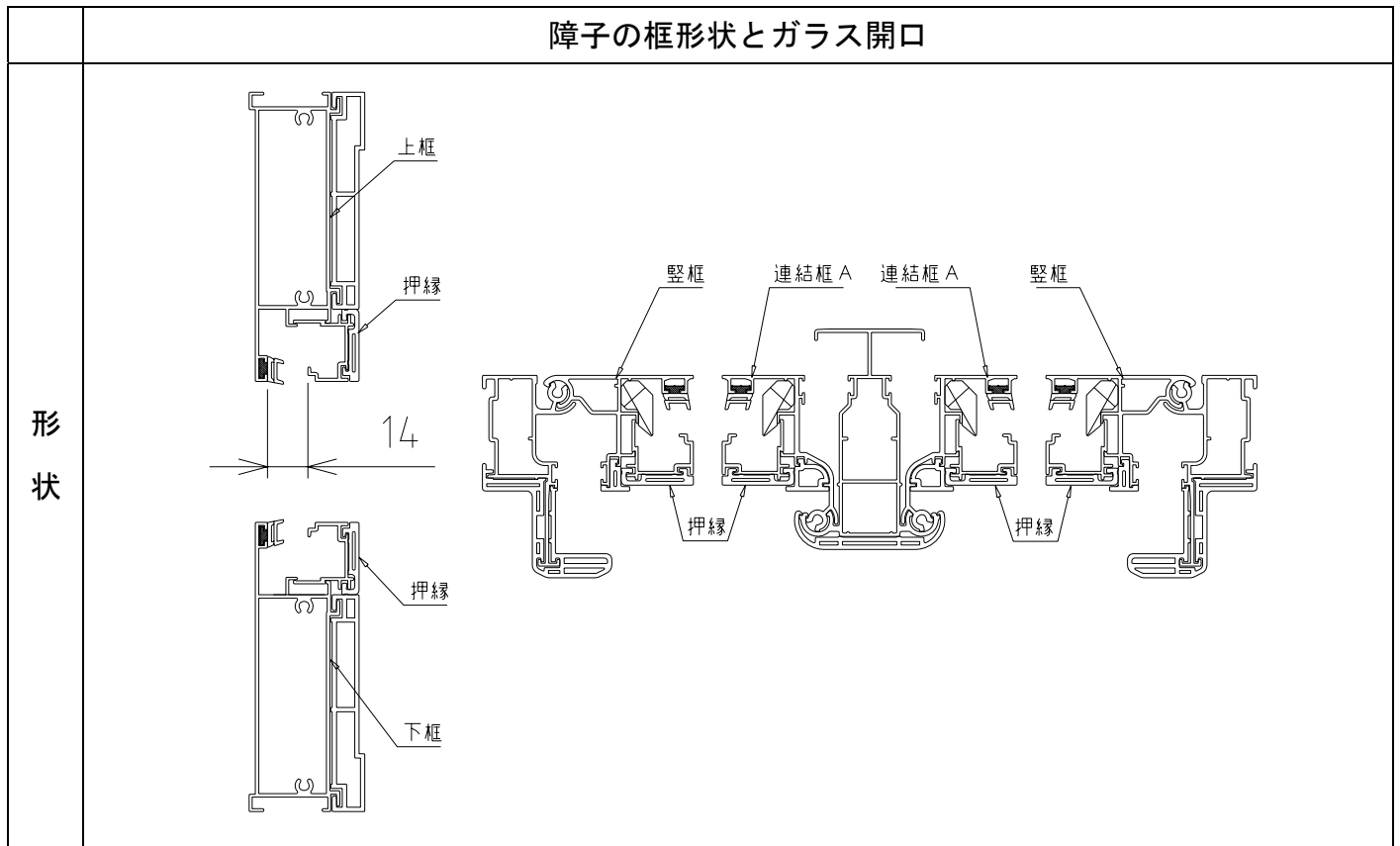


6 ガラスはめ込み前の確認

■ 障子の分類

障子のガラス開口は14mmで、ガラス厚3mm～6.8mmまで対応可能になっています。

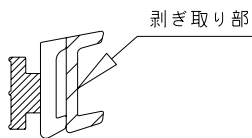
下図・表を参考にしてください。



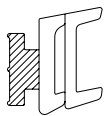
■ ガラスビード一覧

後付け用のガラスビードは、ガラスの厚さに合わせて、別売の後付けビードを別途用意願います。使用ガラス厚に応じたビードの剥ぎ取りの有無は、下表を参照してください。

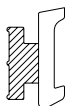
先付けビード形状



先付けビード
3mm～6mmの場合
剥ぎ取りなし



先付けビード
6.8mmの場合
剥ぎ取りあり



ガラス厚	3mm	4mm	5mm	6mm	6.8mm
製品記号	GBC3	GBC4	GBC5	GBC6	GBC4
先付ビード	○	○	○	○	剥ぎ取り
姿図					

7 ガラスはめ込み

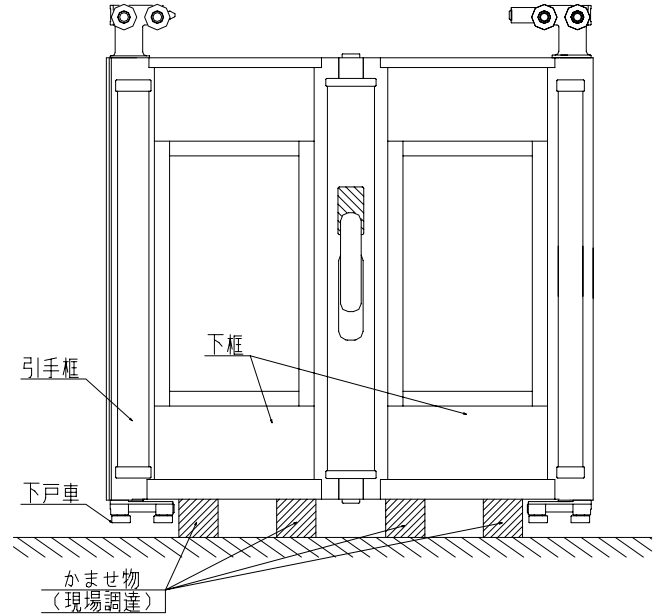
■ 障子を吊り込み前にガラスをはめ込む場合

- ・ 下戸車（25mm）よりも大きく、4箇所とも同じ高さの※かませ物を用意してください。
- ・ ※かませ物は、中央付近に2箇所・戸車付近に各1箇所置いてください。

※かませ物は、現場にて調達してください。



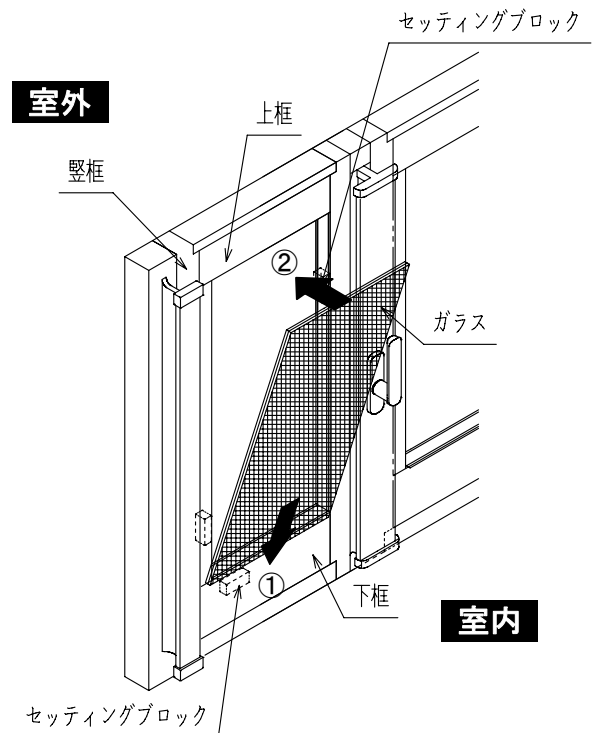
かませ物をせずにガラスをはめ込むと、下戸車にキズが付き開閉に支障をきたします。
必ず、下框にかませ物を入れてください。



■ ガラスはめ込み

右図を参照にしてガラスをはめ込んでください。

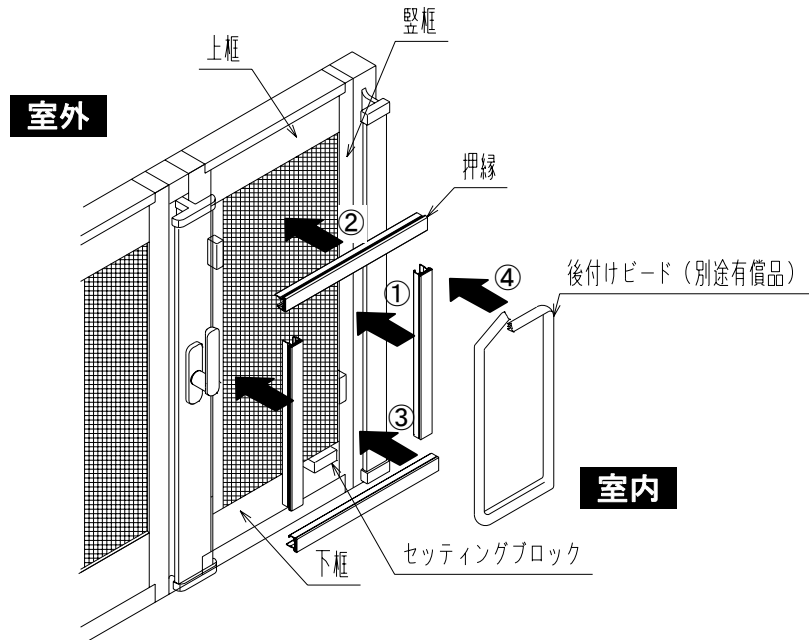
- ① 室内側からガラスを下框セッティングブロックに乗せます。
- ② ①の状態、ガラスを室外側に起こします。



■ 押縁・ビードの取り付け

下図を参照して押縁（4方）と後付けビードを取り付けてください。

- ① 押縁を縦框に取り付けてください。（左右とも）
- ② 押縁を上框に取り付けてください。
- ③ 押縁を下框に取り付けてください。



各部の框に押縁を取り付けた後、押縁が落ちないように仮止めをしてください。

- ④ ガラスビード一覧（P 18）を参照して後付けビードを取り付けてください。
押縁は下図のように、斜めに奥まで差し込み、回転させて室内側に引くと、固定されます。（下図○部分）

